

わたしの主張 校内意見発表会 (その2)

前号に引き続き、「わたしの主張校内意見発表会」の学級代表者の内容を紹介します。

「ゲームのイメージを変える」 2年

ニュース等で、ゲーム依存などゲームは悪いものだというイメージがあります。僕はほぼ毎日ゲームをしています。確かにデメリットもありますが、メリットも多くあるように感じています。ゲームのデメリットを減らしゲームのイメージを変えたいと思います。



まずデメリットについて紹介します。ゲームの時間が増えることで学習時間が減り、学力の低下につながるということです。僕自身もゲームのやり過ぎで学習時間が減ったり、翌朝起きられなかったりした経験があります。長時間のゲームはよくないことがわかります。

では、メリットはどのようなことでしょうか。一つ目は友人と共通の話題ができることです。二つ目は、都合が合わず友達同士で集まらない時でも、オンラインで少しの時間だけでもゲームを楽しむことができます。この他にも、反射神経が良くなる、想像力が養われる、マルチタスク能力が身に付くなどが挙げられています。

ではどうしたらゲームのイメージを変えられるのでしょうか。ゲームの時間をしっかりとコントロールし、学習や睡眠の時間を確保することです。具体的には、一人一人がゲームについてのルールを作り、それを守ることが必要です。僕はこれまでルールは決めていませんでしたが、決めたいと思います。1日のゲーム時間を平日1時間、休日2時間以内にし、宿題や自学などを先に終わらせてからにする。このルールをしっかりと守り、家族や周囲の友達にゲームの時間をコントロールできる自分を示していきたいと思います。

「ゲームは悪いもの」というイメージから出発し、自分なりにゲームのメリットとデメリットを分析してくれました。そして、ゲームのイメージを変えるために、自分でできることは何かを考え、自分の取組を紹介しています。ここで宣言した自分のルールを是非実践してほしいと思います。そして、「ゲームの時間をコントロールできた」という好事例をまたどこかで紹介してもらえたらと思います。

「自分と向き合って」 3年

みなさんは、自分の性格をどう説明しますか。その問いに、自分の長所よりも短所の方がたくさん浮かぶ人が多いのではないのでしょうか。そしてその短所を「なくしたい」「直したい」と考える人がほとんどではないかと思います。少し前の自分は、友達と比べてしまう癖がありました。他人と比べて劣っていると感じることが多くあり、妬み(ねたみ)や嫉妬(しつ)が出ることもありました。また、余計な一言を言ったり、ネガティブになったり、自分が嫌で直したいと思うこともありました。



ある日、学校で自分との向き合い方についての授業がありました。苦しくなった時の対処法などの話を聞きました。その授業を通して、私は見て見ぬふりをしてきた自分と向き合うことに決めました。これまで考えていた「自分の性格」は一定の方向からしか見ていないことに気付きました。例えば、「人と比べてしまう」ことは、人に負けたくない向上心とも考えられ、長所と短所は表裏一体なのだと感じました。考え方を変えれば、大切な個性になります。私は皆さんに「自分のことを否定しないでほしい」と伝えたいです。自分の嫌なところ

や劣っていると感じるところもすべて私の大切な個性であると考えます。それを消して自分の可能性をつぶしてほしくないのです。私は自分の性格、自分自身を否定していましたが、考え方をえ、自分と向き合うことができました。一度でもいいので、自分の性格をとらえ直してみてください。自分の嫌だったところが少しだけ好きになると思います。

まだ完全に自分と向き合えているわけではありません。これから先、じっくりと時間をかけ自分のことを好きになれるその日まで、自分自身を見つめ合い、向き合っていきます。

この発表の中での大切なところは「長所と短所は表裏一体」ではないかと思ひます。とかく人は短所ばかりに目が行きがちですが、短所と思える面でも「個性」であり、「自分と向き合ってみることが大切」という主張は、ポジティブに生きるための大切な示唆だと思ひます。これからの人生を生きていく中で、何度となく自分と向き合うことでよりよい生き方を求めていけるのではないかと感じました。

『イメージ』と『ありのまま』 3年

みなさんは、「ありのまま」とは何かを考えたことはありますか。その姿は人によって様々で、同じだという人はいないと思ひます。また、その姿が分からない人もいると思ひます。



私は小学生の時に「あなたならできるでしょ」「それはあなたのイメージに合わない」と言われることが時々あり、その度に「周りからの自分の姿と『ありのまま』が違っている。イメージと違うと嫌われるかな」と思ひ、友達のイメージに合うような話題や話し方を変えたりして自分を守っていました。しかしその殻は自分を苦しめる凶器でもありました。

中学校になって、私は二つの音楽をきっかけに、あることを学び、少しずつありのままの自分を出せるようになってきました。私が学んだことは、「ありのままが分からなくてもいい」と「この世界では自由でいい」ということです。「ありのままが分からないこと」が自分の「ありのまま」と思えるようになりました。「ありのまま」は成長すると変わっていくものだと思ひます。

私が皆さんに伝えたいことは、「ありのままが分からなくても大丈夫、自分の好きなようにしていい」ということと、人の見かけや普段の行動だけで勝手なイメージを持ち、その人の好きなことなどを否定しないでほしいということ。一度友達に否定されてしまうと、好きなことを言うことが怖くなる人がいます。まず周りの人が、その人の「ありのまま」を受け入れることが大切なのではないかと思ひます。私は今も自分自身の「ありのまま」は分かりません。でも以前のように苦しむことはほとんどなく、好きなものを見つけて楽しく過ごしています。自分の「ありのまま」や「イメージ」によって悩んでいる人が少しでも減ってほしいというのが私の願ひです。

周りからみられるイメージと自分とのギャップ、それを埋めるように違う自分を見せていた過去。中学生になってから、音楽を通して学んだことから「ありのまま」についての考え方を導いていった様子がとてもよく伝わってきました。個性尊重や多様性を受け入れることが大切だと言われます。「否定しないでほしい」という発表者の思ひを全ての人が感じながら生活をすれば、もっと素晴らしい社会になるような気がします。

6人の発表は、どれも素晴らしいものでした。発表者だけでなく生徒全員が自分の考えをまとめたこの取組はとても価値あるもので、私としてはもっとたくさんの主張に触れてみたいと思ひています。もし原稿が手元にあれば、是非、自分のお子さんの主張をお読みください。

学校代表は7月24日(木)の第1学期終業式で発表します。代表は、8月19日(火)に段十ろうで行われる「わたしの主張 十日町・中魚沼地区大会」に参加します。